

研究課題名	口腔癌における治療合併症および周術期管理に関する後方視的検討
研究期間	2025年8月27日～2030年12月31日
研究の対象	2010年4月～2030年3月の間に広島大学病院顎・口腔外科で口腔癌の治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：口腔癌治療における治療期間や合併症の発症など実態を調査することです。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、入院期間や合併症などの口腔がん治療におけるについて実態を把握し、予後との関連性について調査します。今後の治療方法や管理について検討を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、画像検査結果等、生理学的検査、病理組織学的検査と再発転移や予後について</p> <p>試料：血液、尿、摘出臓器など</p> <p>試料・情報の管理責任者： 広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学 柳本惣市</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年8月27日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	外部への提供はありません。収集した情報は特定の関係者のみアクセス可能なPCにて厳重に管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学 教授 柳本惣市</p>
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問い合わせ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出くだ</p>

さい。

広島大学医系科学研究科 口腔腫瘍制御学

担当者：大林 史誠

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5667